

地域とともにある学校づくりをめざして

下関市立内日小学校

学校運営協議会について

(1) 実施回数

年間4回開催（5月・7月・11月・2月）

※7月は全教職員が参加、11月は授業参観・給食試食会あり。

(2) 主な協議内容

- ・学校経営方針の説明、学校の現状と課題
- ・学校運営協議会の活動
- ・3つのプロジェクト（学び・心・健康）での協議、情報交換など

特色ある活動

【学校運営協議会委員さんが学習者として授業に参加（人権参観日）】

昨年度から道徳が教科化となり、「考え、議論する道徳」をめざして授業づくりに取り組んでいます。本校は少人数であることから、多様な見方・考え方にふれることが難しい状況です。そこで、学校運営協議会委員さんに参観者としてではなく、学習者として子供の話し合いにいっしょに加わっていただくようお願いしました。おかげで、いつも以上に対話的な学びが展開されました。



【地域の方による読み聞かせ（朝読書）】

地域の方による読み聞かせグループ「ひまわりの種」の皆様、定期的に朝読書の時間に読み聞かせをしていただいています。子供たちの興味や、読み聞かせを通して伝えたいこと、感じてほしいことを考えて本選びをしてくださっています。すてきな読み聞かせに、子供たちはいつも聞き入っています。2学期末には読み聞かせの後、第2コミュニティルームで茶話会をしました。読み聞かせの感想から始まり、学校と地域のつながりをさらに強めるための様々なアイデアもたくさん出され、楽しく有意義な時間となりました。



【お世話になった地域・団体の方に感謝（食農教育ありがとうの会）】

J Aをはじめ地域の農業関係者の方にご協力いただき、今年度も田植え・稲刈り・はぜかけ・脱穀を経験し、お米を収穫することができました。そのお米を使って、子供たちがおにぎりを作り、お世話になった方々をご招待して、会食「ありがとうの会」を開催しました。会食では、地域の方々といろいろな話をしてふれあうことができました。



来年度に向けて

来年度は、読み聞かせグループ「ひまわりの種」からいただいたご意見をもとに、来校者を増やし、コミュニティルームの活用を促進するために、学校開放日「学校へ行こうの日」を毎月1回程度設けるなど、学校と地域をつなぐ取組を更に充実させていきます。

地域と共にある学校をめざして

下関市立内日中学校

学校運営協議会について

年間4回開催（小・中合同で開催）

第1回（5月）

○学校経営方針等の説明 ○プロジェクト別協議

第2回（7月）

○プロジェクト別協議

○1学期の振り返りと今後の活動について

第3回（11月）

○小・中学校授業参観（小中地域合同給食試食会含む）

第4回（2月）

○学校評価、次年度の学校運営方針の承認等



「プロジェクト別協議」

特色ある活動

◆多様な意見を取り入れた教育活動の充実

【参加型参観授業】実施日：11月12日（火）

○参加者：学校運営協議会委員・内日小教職員

道徳の授業におけるグループ学習に学校運営協議会委員の皆様に加わっていただき、日頃とは異なる多様な意見の出る話し合いを行いました。生徒が自らの意見を意欲的に述べる場面や委員の皆様の見解に耳を傾ける場面が数多く見られ、深い学びにつなげることができました。

参加した委員さんの感想：授業に参加して、道徳の授業の内容を知ることができたし、生徒の皆さんの生の声や考えを聴くことができたことが大変よかったです。



「参加型参観授業」

◆ふるさとを愛する心の育成に向けた取組

【しめ縄づくり教室】実施日：12月11日（水）

○参加者：全校生徒・地域住民

内日公民館職員・学校運営協議会委員

内日公民館と連携して、地域住民の方を講師に迎えて「しめ縄づくり教室」を行いました。初めに講師の方にお手本を作っていただき、その後グループに分かれて作り方を教えていただきました。地域に伝わる伝統文化に触れる絶好の機会となりました。

生徒の感想：思ったより複雑で、作るのはとても難しかったけど、できた時の達成感がとても大きかった。わからない時はやさしく教えていただき、楽しく作業を進めることができました。ありがとうございました。



「しめ縄づくり教室」

来年度に向けて

業務改善の視点を持ちつつ、「学校・地域連携カリキュラム」を見直しながら、小学校・地域との連携を深め、取組の充実化を図っていきたいと考えています。